

平成30年度

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科
教育学専攻（修士課程）

学生募集要項

（ 一 般 選 拔 ）
現職教員特別選抜
私費外国人留学生特別選抜



高 知 大 学

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
1 募集人員等	1
2 出願資格	1
3 出願資格についての注意	2
4 出願手続	2
5 選抜方法	3
6 合格者発表	5
7 入学手続等	6
8 障がい等のある者の出願について	6
9 長期履修学生制度	7
10 教員免許取得プログラムについて	7
11 奨学金	8
12 その他	8

教育学専攻（修士課程）案内

1 設置の目的及び趣旨	9
2 教育学専攻の概要	10
3 各コース・分野の研究内容の概要	10
4 履修方法等	13
（現職教員等の教育方法の特例措置）	13
（総合人間自然科学研究科修士課程黒潮圏総合科学準専攻について）	14
（総合人間自然科学研究科修士課程植物医学準専攻について）	15
（総合人間自然科学研究科修士課程海洋鉱物資源科学準専攻について）	16
（総合人間自然科学研究科修士課程副専攻プログラムについて）	17
5 授業科目表	18
6 取得できる教育職員免許状の種類	18
検査場案内	19
高知大学朝倉キャンパス平面図	20

【添付書類】

- | | | | |
|------------------------------------|--|---|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 出願書類等確認票 | <input type="checkbox"/> 入学願書 | <input type="checkbox"/> 受験票・写真票・入学検定料払込証明書・座席票 | |
| <input type="checkbox"/> 住所シール | <input type="checkbox"/> 研究計画書 | <input type="checkbox"/> 教育研究業績調書 | <input type="checkbox"/> 受験承諾書 |
| <input type="checkbox"/> 入学検定料払込用紙 | <input type="checkbox"/> 提出書類郵送あて名書き用紙 | | |

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

学校教育コース

- 【知識・理解】教育及び学校分野に関して、学士課程修了相当の基礎的な知識を習得している。
- 【思考・判断】教育及び学校分野をめぐる現代的諸課題について、学士課程修了相当の基礎的な知識を用いて、自らの研究課題を設定することができる。
- 【関心・意欲】教育及び学校分野に関する社会的ニーズと自らの学習・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習・研究し続けたいと考えている。
- 【態度】教育及び学校分野に関して高度な実践力をもった専門的職業人として、自らの使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献したいと考えている。
- 【技術・表現】自らの研究テーマについて、口頭表現や文書表現によって、的確に伝えることができる。

授業実践コース

- 【知識・理解】授業及び教科方法・内容分野に関して学士課程修了相当の基礎的な知識を習得している。
- 【思考・判断】授業及び教科方法・内容分野をめぐる現代的諸課題について、学士課程修了相当の基礎的な知識を用いて、自らの研究課題を設定することができる。
- 【関心・意欲】授業及び教科方法・内容分野に関する社会的ニーズと自らの学習・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習・研究し続けたいと考えている。
- 【態度】授業及び教科方法・内容分野に関して高度な実践力をもった専門的職業人として、自らの使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献したいと考えている。
- 【技術・表現】自らの研究テーマについて、口頭表現や文書表現によって、的確に伝えることができる。

1 募集人員等

コース	分野	募集人員	備考
学校教育	教育学	12人	1. 募集人員の3分の1程度を現職教員特別選抜の受入枠とします。 2. 募集人員には、私費外国人留学生特別選抜の留学生を含みます。 3. <u>本専攻の入学定員(12人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科の入学定員(240人)に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>
	心理学		
授業実践	国語教育		
	社会科教育		
	数学教育		
	理科教育		
	音楽教育		
	美術教育		
	保健体育		
	技術教育		
家政教育			
英語教育			

※特別支援教育コース・分野については、平成30年度4月設置予定の教職実践高度化専攻（仮称）で募集を予定しています。詳しくは9月上旬公表予定の教職実践高度化専攻募集要項を確認してください。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に

指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(「大学院及び大学の専攻科の入学に関し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者(昭和28年文部省告示第5号)」により指定された者)
- 〔「独立行政法人水産大学校法による水産大学校を卒業した者」、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」等〕
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び平成30年3月までに22歳に達する者

※なお、「現職教員特別選抜」の出願資格は、上の出願資格のいずれかに該当し、かつ、平成30年4月1日現在で3年以上の教職経験を有した、現に教職にある者又は教育関係機関の職員である者で、現職のまま入学するものです。教育委員会からの派遣教員も含まれます。「私費外国人留学生特別選抜」の出願資格は、日本国籍及び日本における永住資格を有しない者で、上の出願資格のいずれかに該当するものです。

3 出願資格についての注意

- (1) 出願資格の確認について(「出願資格(3),(4),(6),(8)」の該当者)
出願前に入試課大学院担当(電話 088-844-8154)に問い合わせ、所定の手続きを確認してください。

- (2) 個別の入学資格審査について(「出願資格(9)」の該当者)
「出願資格(9)」に該当する者は、主として「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、その他の教育施設の修了者等で、大学卒業資格を有していない者」です。これにより出願する場合は、事前に入学資格審査を行いますので、必要書類を、第1次募集については平成29年6月30日(金)までに、第2次募集については平成29年12月1日(金)までに、第3次募集については平成30年1月26日(金)までに提出してください。

「出願資格(9)」の入学資格審査に必要な書類
(ア) 入学資格審査申請書(本専攻所定の用紙)
(イ) 最終出身学校卒業(修了)証明書
(ウ) 最終学校の成績証明書
(エ) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料
(オ) 業績書及び研究計画書(本専攻所定の用紙)
(カ) 返信用封筒:表に住所・氏名を記入し、362円分の切手を貼った長形3号(23.5cm×12cm)の封筒
※「本専攻所定の用紙」については、入試課大学院担当に問い合わせてください。
※ 提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。

- (3) 外国人の場合は、日本語による日常会話に支障のない者であることが必要です。

4 出願手続

- (1) 出願期間

【第1次募集】 平成29年7月18日(火)から7月20日(木)8時30分~17時《必着》

【第2次募集】 平成29年12月25日(月)から12月27日(水)8時30分~17時《必着》

【第3次募集】 平成30年2月20日(火)から2月22日(木)8時30分~17時《必着》

出願期間最終日の17時を必着としますので、郵送(特定記録・速達郵便)する場合は、郵便事情を十分考慮の上、余裕をもって送付してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

- (2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形2号の封筒に入れ、本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要な事項を記入の上、これを封筒に全面のり付けして特定記録・速達郵便で、所定の期間内に提出してください。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。

〈出願書類提出先〉 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
高知大学学務部入試課大学院担当(電話 088-844-8154)

(3) 出願書類等

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、座席票	本要項添付の用紙による。(受験票の裏面に郵便番号・住所・氏名を明記し、342円分の切手を貼ること。)
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校の卒業(修了)(見込み)証明書	「出願資格(2),(9)」の該当者及び本学学部の在籍者は提出しなくてよい。
⑤	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。なお、本学学部の在籍者は提出しなくてよい。
⑥	研究計画書	本要項添付の用紙による。
⑦	教育研究業績調書	現職教員特別選抜の志願者のみ提出してください。 本要項添付の用紙による。
⑧	自作曲の楽譜 (音楽教育分野「作曲」 志願者のみ)	音楽教育分野の選択科目のうち「作曲」での志願者は、自作曲の楽譜3点以内(コピー可)を、願書と共に提出してください。その際、自作であることの確認のため、作品データ(作曲年、演奏したものであれば演奏記録—初演、再演の日時、場所、演奏者名、委嘱、主催等)を添付してください。
	作品と作品のアルバム又は 現在までの研究の要旨 (美術教育分野志願者全員)	美術教育分野の志願者は、次の①、②のいずれかを選択してください。 ① 自作であることが証明できる作品3点以内と作品のアルバムを試験当日持参してください。 ② 現在までの研究の要旨(卒論の要旨も可)を400字詰め原稿用紙3枚(ワープロ可)にまとめたものを願書と共に提出してください。
⑨	受験承諾書	現職教員特別選抜を受験する者は、本学所定の用紙により、任命権者(公立学校の教員については教育長)が作成したもの。
⑩	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行で払込み、「入学検定料払込証明書」に「振替払込受付証明書(大学提出用)」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)を貼ること。 (納入した入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。)
<p><その他の必要書類></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本に在住する外国人にあつては、市町村長の発行する「住民票の写し(国籍、在留資格、期間が記載されたもの)」を上記書類に加え提出してください。 2. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を提出してください。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意)を提出してください。 		

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 受け付けた検定料及び出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 本要項に記載の必要書類以外は添付しないでください。
- ⑦ 現職教員特別選抜のうち、教育委員会からの派遣教員について、出願書類の④最終出身学校の卒業(修了)証明書、⑤学業成績証明書、⑥研究計画書、⑦教育研究業績調書が出願期間最終日までに提出できない場合は、当該書類を必ず**平成30年1月19日(金)**までに提出してください。

5 選抜方法

入学者の選抜は、一般選抜、現職教員特別選抜、又は私費外国人留学生特別選抜により、学力検査(筆記試験、口述試験)、学業成績証明書を総合して行います。

- (1) 学力検査
- | | |
|---------|---------------|
| 【第1次募集】 | 平成29年8月28日(月) |
| 【第2次募集】 | 平成30年2月10日(土) |
| 【第3次募集】 | 平成30年3月6日(火) |

① 「一般選抜」及び「私費外国人留学生特別選抜」

試験科目 総点 300 (配点)		筆記試験 (※実技試験)		口述試験 (100)
		専門科目		
		必須科目(100)	選択科目(100)	
時 間		9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~
学校教育	教育学	学校教育に 関する小論文	・教育学	※音楽教育分野, 美術教育分野の口述試験は14:00開始
	心理学		・心理学	
授業実践	国語教育	国語教育に 関する小論文	・国語科教育学 ・国語学 ・国文学 ・漢文学 以上4科目から1科目選択	
	社会科教育	社会科教育に 関する小論文	・社会科教育学 ・歴史学 ・地理学 ・哲学 ・法律学 ・経済学 以上6科目から1科目選択	
	数学教育	数学教育に 関する小論文	・数学科教育学 ・代数学 ・幾何学 ・解析学 以上4科目から1科目選択	
	理科教育	理科教育に 関する小論文	・理科教育学 ・物理学(英語を素材とした内容を含む。辞書持込み可) ・化学(英語を素材とした内容を含む。辞書持込み可) ・生物学(英語を素材とした内容を含む。辞書持込み可) ・地学(英語を素材とした内容を含む。辞書持込み可) 以上5科目から1科目選択	
	音楽教育	音楽教育に 関する小論文	・音楽科教育学 ・器楽 ・声楽 ・音楽学 ・作曲(作曲の試験時間は11:00~13:00です) 以上5科目から1科目選択	
	美術教育	美術教育に 関する小論文	・美術科教育学 ・絵画 ・彫刻 ・デザイン ・工芸 ・美術理論及び美術史 (絵画, 彫刻, デザイン, 工芸の試験時間は11:00~13:00です) 以上6科目から1科目選択	
	保健体育	保健体育教育に 関する小論文	・保健体育科教育学 ・体育学 ・運動学 ・学校保健 以上4科目から1科目選択	
	技術教育	技術教育に 関する小論文	・技術科教育学 ・電気 以上2科目から1科目選択	
	家政教育	家政教育に 関する小論文	・家庭科教育学 ・食物学 ・家庭経営学 以上3科目から1科目選択	
英語教育	英語教育に 関する小論文	・英語科教育学(英語を素材とした内容を含む。辞書持込み不可) ・英語学(英語を素材とした内容を含む。辞書持込み不可) ・英米文学(英語を素材とした内容を含む。辞書持込み不可) 以上3科目から1科目選択		
				主として分野 に関わる研究 領域について, 研究計画書を 中心に試問し ます。

(注) 1. 当日は、8時30分までに所定の集合場所へ集合してください。

2. 試験科目を全て受験しないと合格者となりません。

3. 試験が終了するまでは退室できません。

4. 試験開始から30分経過後の入室・受験は認められません。

5. 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。

6. 筆記試験で机の上に置けるものは、「受験票」、「筆記用具(黒鉛筆・シャープペンシル・消しゴム)」、「時計(計時機能だけのもの)」のみです。試験室ではこれらのもの以外は机に出してはいけません。

「辞書持込み可」と記載されている科目については「英和辞書」のみの持込みを認めます(専門用語辞書、電子辞書等は不可)。

携帯電話等の音の出る電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れ、所持しないでください。

7. 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

8. 教育学分野の選択科目「教育学」は、教育哲学、教育行政学、社会教育学、生徒指導、道德教育、学級経営、教育社会学の中から出題します。
9. 心理学分野の選択科目「心理学」は、教育心理学及び発達心理学の中から出題します。
10. 社会科教育分野の選択科目のうち「歴史学」は、西洋史、東洋史の中から1領域選択して解答してください。
11. 音楽教育分野の選択科目のうち「器楽」、「声楽」、「音楽学」、「作曲」については、以下の内容を課します。
 - ・「器楽」は、ピアノ又は管楽器による任意の独奏曲の演奏。（反復なし。ピアノ伴奏者が必要な場合は同伴してください。）
 - ・「声楽」は、任意の歌曲又は宗教曲、オペラのアリア1曲の演奏。（暗譜。伴奏者は同伴してください。）
 - ・「音楽学」は、西洋音楽史及び民族音楽学の専門的知見を問います。
 - ・「作曲」は、与えられたモチーフをもとに作曲。（五線紙はこちらで用意します。試験時間を120分とします。）
12. 美術教育分野の選択科目のうち「絵画」、「彫刻」、「デザイン」、「工芸」は、実技(素描)を課すので、鉛筆、練りゴムを各自持参してください。実技(素描)は、試験時間を120分とします。「美術理論及び美術史」は、日本美術史及び西洋美術史の専門的知見を問います。

② 「現職教員特別選抜」

試験科目 総点100		口述試験（配点：100）
時 間		13:30～
学校教育	教育学	（音楽教育分野、美術教育分野の口述試験は14:00開始） 主として分野に関わる研究領域について、教育研究業績調書及び研究計画書を中心にして試問します。
	心理学	
授業実践	国語教育	
	社会科教育	
	数学教育	
	理科教育	
	音楽教育	
	美術教育	
	保健体育	
	技術教育	
	家政教育	
英語教育		

- (注) 1. 当日は、13時10分までに所定の集合場所へ集合してください。
2. 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。

(2) 試験場及び集合場所

試験場：高知大学教育学部（高知市曙町二丁目5番1号）

集合場所：教育学部1号館11番講義室

集合場所・注意事項については当日、「案内図」で確認してください。

（「案内図」の設置場所は高知大学朝倉キャンパス平面図（P.20）を参照してください。）

6 合格者発表

- (1) 第1次募集については平成29年9月15日(金)10時、第2次募集については平成30年2月20日(火)10時、第3次募集については平成30年3月19日(金)10時に、本学朝倉キャンパス掲示板に受験番号を掲示するとともに、合格者本人あて（住所シールに記載された場所）に合格通知書を特定封筒郵便（レターパックライト）で発送します。
- (2) ホームページ上でも合格者発表を行いますが、必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学入試情報 <http://nyusi.kochi-u.jp/>
- (3) 電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続等

合格者には、入学に際し必要な書類を、合格通知書とともに送付します。

(1) 手続期間等

手続期間 **【第1次募集】平成29年11月20日(月)8時30分から11月22日(水)17時《必着》**
【第2次募集】平成30年3月14日(水)8時30分から3月16日(金)17時《必着》
【第3次募集】平成30年3月26日(月)8時30分から3月27日(火)17時《必着》

手続場所は高知大学学務部入試課を予定しています。

(2) 入学手続書類

- ① 宣誓書（本専攻所定の様式）
- ② 保証書（本専攻所定の様式）
- ③ 住民票記載事項証明書（本専攻所定の様式）
- ④ 身上書（本専攻所定の様式，縦4cm×横3cmの写真を貼付）
- ⑤ 学生証交付願（本専攻所定の様式，縦4cm×横3cmの写真を貼付）
- ⑥ 最終学校の卒業（修了）証明書（高知大学卒業生は不要）又は在学期間証明書（既に提出の場合は不要）

(3) 入学料及び授業料

- ① 入学料 282,000円
- ② 授業料 第1学期分267,900円（年額535,800円）

○ 注意事項

- 1) 入学料は入学手続時に納付してください。
授業料は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。
- 2) **入学料の免除又は徴収猶予**を希望する者は、入学手続に先立って申し出てください。なお、授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。**入学料・授業料の納付後は、免除等申請ができません。**
＜問い合わせ先＞高知大学学務部学生支援課学生生活支援係（電話 088-844-8146）
- 3) 本学には、学部学生及び大学院生を対象とした「卓越した学業等成績優秀者授業料免除制度」、大学院生を対象とした「学業等成績優秀者授業料免除制度」があります。選考方法等は研究科各専攻により異なりますので、詳細については、入学後に各専攻事務担当窓口にお問い合わせください。
- 4) 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 5) 入学料免除及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納付していただくことになります。
- 6) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

8 障がい等のある者の出願について

障がい等のある入学志願者で、受験及び修学の際に配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談をしてください(注1)。相談内容によっては、対応できない場合や時間を要する場合がありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

※日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、事前相談をしてください(注1)。

①電話相談

申請書提出の前に、まず「(注2)連絡先」に電話で概要をお知らせください。

その際、本学で対応可能な措置や申請にあたり必要となる本学所定の様式「受験上の配慮等申請書」や「状況に応じて必要となる証明書（身体障がい者手帳の写し、医師の診断書※(発行後3ヶ月以内のもの)等）」について、お知らせします。

②「受験上の配慮等申請書」提出

その後、本学所定の様式「受験上の配慮等申請書」に必要事項を記入のうえ、証明書等を添えて「(注2)連絡先」まで提出してください。

「本学所定の様式」及び「過去の配慮例」等は、高知大学入試情報 (<http://nyusi.kochi-u.jp/>) より、ダウンロード、閲覧してください。

③必要に応じて個別面談

その結果、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

(注1) 相談の期限 【第1次募集】 平成29年6月30日(金)まで

【第2次募集】 平成29年12月1日(金)まで

【第3次募集】 平成30年1月26日(金)まで

(注2) 連絡先 高知大学学務部入試課大学院担当 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

TEL 088-844-8154

9 長期履修学生制度

この制度は、主に職業を有している等の理由により、標準修業年限（2年）で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて標準修業年限を超えて一定の期間（2年6カ月～4年）にわたり計画的に教育課程を履修することを認める制度です。

長期履修を認められた場合は、2年間（標準修業年限）の授業料を計画的な履修を認められた期間で除した額をそれぞれの年に均等に支払うこととなります。

また、時間割等の履修計画については、指導教員、授業担当教員、当該分野等と調整・相談することとなります。（なお、授業担当者、分野の事情等により、希望どおりにならない場合もあります。）

<問い合わせ先>高知大学学務部学務課修学支援室教育学部教務係（電話 088-844-8653）

10 教員免許取得プログラムについて

大学院で学びながら、一種免許状の取得が可能となりました。

※科目等履修生として免許取得に必要な学部の授業を履修できます。

諸費用（検定料・入学金・授業料）は必要ありません。

総合人間自然科学研究科（修士課程）では、平成23年度入学生から「教員免許取得プログラム」を実施することになりました。

このプログラムは、学部在学時等に修得単位不足で教員免許が取得できなかった者や、学部在学時には免許取得を希望していなかったが大学院に入学し新たに教員免許を取得しようとする者が、学部の科目等履修生として入学し、大学院の教育課程と並行して学部の授業（教員免許取得に必要な科目に限る）を履修することを可能とするものです。履修に要する費用（検定料・入学金・授業料）は徴収しないこととなっています。（ただし、教材費等は別途必要）

また、大学院における学修で必要な単位を修得することによって、大学院修了時には専修免許状を取得することができます。なお、2年間で大学院の教育課程及び一種免許状取得のための必要単位修得が困難であると考えられる場合は、長期履修学生制度を活用することも可能です。（長期履修学生制度については、上記の9「長期履修学生制度」をご覧ください。）

※授業は、学部の通常授業及び集中講義の科目を受講することとなります。

夜間開講等の特別な対応は、予定しておりません。

【取得できる免許】

原則として、入学（所属）する専攻の基礎学部において取得可能な免許（教科）に限る。

所属専攻	基礎学部	取得できる免許状
人文社会科学専攻	人文学部 (人文社会科学部)	中学校教諭 (国語・社会・英語)
		高等学校教諭 (国語・地理歴史・公民・商業・英語)
教育学専攻	教育学部	小学校教諭
		中学校教諭 (国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)
		高等学校教諭 (国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体育・家庭・英語)
理学専攻	理学部 (理工学部)	中学校教諭 (数学・理科)
		高等学校教諭 (数学・理科・情報)
看護学専攻	医学部	高等学校教諭 (看護)
		養護教諭
農学専攻	農学部 (農林海洋科学部)	中学校教諭 (理科)
		高等学校教諭 (理科・農業・水産)

※ 取得できるのは、原則として、1つの免許状に限る。ただし、同一教科であれば、中学校教諭と高等学校教諭の2つを取得することは可能。

(例：中学校(国語)と高校(国語)、中学校(社会)と高校(地理歴史))

【申請手続き】

合格通知書送付時に、「教員免許取得プログラム」についての詳細案内を同封します。申請期限・提出書類等をご確認の上、手続きを行ってください。

11 奨学金

日本学生支援機構奨学生として選考の上、「大学院第一種奨学金」、「大学院第二種奨学金」として貸与される奨学金があります。

<問い合わせ先>高知大学学務部学生支援課経済支援・保険係 (電話 088-844-8565)

12 その他

- (1) 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜に係る調査・研究等及び就学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

また、合格者に限り、入学後の就学に係る学生サービスのために、提出のあった「住所シール」を教育学部後援会、高知大学生生活協同組合に提供することを御了承願います。

- (2) 募集要項に関して不明な点は、入試課大学院担当に照会してください。郵送による照会は、返信用封筒(定形・速達料分の切手を貼付)を同封してください。

<問い合わせ・請求先>

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
高知大学学務部入試課大学院担当
(電話 088-844-8154)

高知大学ホームページ

アドレス : <http://www.kochi-u.ac.jp/>

1 設置の目的及び趣旨

（1）設置の目的

教育を取り巻く社会状況の急激な変化は、教育現場の抱える諸課題を急速に複雑かつ深刻なものにしており、それはそのまま、とりわけ義務教育段階における学校教育の任務を重いものとしています。また、諸課題の複雑化・深刻化によって、諸課題への型どおりのマニュアル的な対応が不可能になっているという現実もあります。

こうした状況の中で、学校教育の重要な担い手である教員には、今日の教育現場が抱える諸課題を自ら分析・洞察し、問題解決の工夫を自ら深く行う能力が期待されています。さらに、そうした問題解決の取り組みを教育現場においてあるいは社会にたいして発揮することが求められています。

本教育学専攻は、人間の発達や人間形成に関する科学的知識や研究能力と高度な教育実践力をもった教員の養成を行うとともに、地域が抱える多様な教育課題に答え得る資質・能力をもつ優れた教員を養成し、地域の発展に寄与することを目的として設置されたものです。

（2）設置の趣旨

本教育学専攻は、修士学位を基礎資格とする専修免許状の趣旨に従い、複雑で多岐にわたる教育の諸課題に対応できる高度の能力を有する教員の養成を図るものです。本教育学専攻は、学校教育の基礎となる教育科学及び諸科学のさまざまな領域から構成されていますが、とりわけ、上記の目的を実現するために、以下の諸項目の実現を図るカリキュラムとなっています。

- ① 今日の教育現場が抱えるどのような課題にどのように応えるかということを常に明確にした上で教育・研究を推進しながら、高度の実践性と学問性の融合を図ります。

学校教育コースでは、教育学、心理学を基盤としながら教育相談・生徒指導・学校経営を中心としたカリキュラムとなっています。

授業実践コースのカリキュラムでは、授業現場に密着した教科内容基礎論、教材開発演習を設けています。また、複数の教科にまたがりながら授業指導法の基礎を研究する教授・学習過程基礎演習も開設しています。

- ② 附属校園や地域の協力校と連携し、教育現場に根ざした教育・研究を推進します。

1年次から2年次にかけての「長期インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」では、附属校園等における実践とその振り返りというサイクルを積み重ねることによって、実践力の向上を図るとともに、実践を支える研究能力を鍛えます。授業実践コースにおける長期インターンシップは、教科教育及び教科専門の教員によるジョイント指導が基本となります。また、大学院生および現職教員用の「教材開発室」が開設され、授業づくりに不可欠な資料、コミュニケーション力育成・向上に関する資料及び長期インターンシップの成果資料等を収集して、分析結果等をライブラリー化して整理し活用します。

- ③ 現職教員の再教育にあたっては、これまでの教育実践の理論的な深化をおこないながら、さらなる教育実践を支える専門的知識、研究能力が習得できるようにします。

現職教員が授業実践コースで長期インターンシップを履修しない場合は、授業方法演習や教科内容基礎論を積み上げることによって、専門的知識、研究能力の向上のための集中した履修が可能となります。

2 教育学専攻の概要

コース	研 究 領 域
学校教育	教育学（教育哲学，社会教育学，生徒指導，道德教育，教育社会学）
	心理学（教育心理学，発達心理学）
授業実践	国語教育（国語科教育学，国語学，国文学，漢文学）
	社会科教育（社会科教育学，歴史学，地理学，経済学，哲学，法律学）
	数学教育（数学教育学，代数学，幾何学，解析学）
	理科教育（理科教育学，物理学，化学，生物学，地学）
	音楽教育（音楽科教育学，器楽，声楽，音楽学，作曲）
	美術教育（美術科教育学，絵画，彫刻，デザイン，工芸，美術史）
	保健体育（保健体育科教育学，体育学，運動学，学校保健）
	技術教育（技術科教育学，電気）
	家政教育（家庭科教育学，食物学，家庭経営学）
英語教育（英語教育学，英語学，英米文学）	

3 各コース・分野の研究内容の概要（平成30年4月現在）

（1）学校教育コース

教育学・心理学を基盤としながら，教育現場が抱える諸課題をめぐる深い分析・省察を実践に生かすことのできる教員の養成を行います。

① 教育学分野

担当教員	研究領域	研究内容
岡谷 英明	教育哲学	教育人間学・道德教育学
加藤 誠之	生徒指導	不登校・非行に関する現象学・実存主義的理解
内田 純一	社会教育学	生涯学習論，社会教育学，地域教育学
横山 卓	教育社会学	子どもの発達社会学，地域社会と教育

② 心理学分野

担当教員	研究領域	研究内容
金山 元春	発達心理学	学校心理学と教育相談
玉瀬 友美	教育心理学	学習心理学，幼児のことばに関する研究
野中陽一朗	教育心理学	教授学習過程に関する教育心理学的研究

（2）授業実践コース

教科教育及び教科専門の深い知識を身に付け，自ら教科の指導方法・指導内容を開発することができる創造力豊かな教員の養成を行います。

① 国語教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
吉田 茂樹	国語科教育学	特に国語科授業論，文章表現指導論
岩城 裕之	国語学	特に日本語方言の語彙，地域文化や言語教育の研究
武久 康高	国文学	特に中古・中世の文学，古典文学の享受史
玉木 尚之	漢文学	特に中国古代の思想の研究，漢字・漢文教育の研究

② 社会科教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
藤田 詠司	社会科教育学	社会科教育学，特に社会科内容構成論，ドイツ政治教育史
※柳川平太郎	歴史学	西洋史，特にヨーロッパ近世・近代史，都市史
遠藤 隆俊	歴史学	東洋史，中国宋代以後の家族・同族問題，知識人の動向
遠藤 尚	地理学	地理学，特に地域研究（インドネシア），農村地理学
中村 努	地理学	地理学，特に社会経済地理学，流通地理学，情報地理学
山崎 聡	経済学	経済思想：特に，ケンブリッジ学派と厚生経済学
原崎 道彦	哲学	西洋哲学史（主にドイツ観念論），リラクセーション論，快樂論
藤本 富一	法律学	憲法学：特に外国人の人権，英国国籍法

③ 数学教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
服部裕一郎	数学教育学	問題解決, クリティカルシンキング
佐藤淳郎	代数学	可換環論, 特に環の単純拡大およびイデアル論
山口俊博	幾何学	位相幾何学, トポロジー, グラフ理論
加納理成	解析学	偏微分方程式, 非線形解析

④ 理科教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
中城満	理科教育学	理科指導法, 理科教材開発
草場実	理科教育学	理科学習指導, 理科学習評価, 特に生徒の認知と社会的相互作用に関する研究
※國府俊一郎	物理学	物性物理学: 低温物理
普喜満生	物理学	宇宙物理学: 高エネルギー宇宙線のコンピュータシミュレーション
蒲生啓司	化学	分離化学・有機材料化学: 微量有機物質の分析方法の開発に関する研究, 環境教育: 環境理解のための化学研究と化学教材研究
西脇芳典	化学	分析化学, 法化学: 特にX線分析を用いた科学捜査技術の開発研究
原田哲夫	生物学	環境生理学, アメンボの生物学, 幼児・児童・生徒・学生の生活リズムに関する研究, 小・中・高を見通した連続性のある教材開発研究(生物分野)
伊谷行	生物学	海洋生物学, 特に海産無脊椎動物の自然史学, 干潟域の生態学, 環境教育
赤松直	地学	地球惑星物質科学: 鉱物とその融解物の物理・化学, 分子動力学シミュレーション, シミュレーションを利用したWeb教材開発研究

⑤ 音楽教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
金奎道	音楽科教育学	学校教育音楽, 教育実践学, オルフに関する研究
宮田信司	器楽	ピアノによる演奏法を古典派, ロマン派を中心に研究
梶原彰人	器楽	トロンボーン奏法の研究, 管楽器演奏における表現の研究
小原浄二	声乐	独唱(歌曲, 宗教曲, オペラ), 発声法, J.S.バッハ声楽曲の研究
高橋美樹	音楽学	世界の諸民族の音楽, ポピュラー音楽。特に沖縄・奄美の音楽を中心に研究
前田克治	作曲	今日の作曲, 及び芸術表現を, 作曲技法上から, そして, 美学的側面から研究

⑥ 美術教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
金子宜正	美術科教育学	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究, 授業研究
土井原崇浩	絵画	油彩による絵画表現の可能性と没食子インクの研究
野角孝一	絵画	日本画における心象表現の追求, 及び材料研究
阿部鉄太郎	彫刻	塑造による具象表現を制作中心に研究
吉岡一洋	デザイン	グラフィックデザインによる表現を制作中心に研究
吉光誠之	工芸	木材による造形表現を制作中心に研究
中村るい	美術史	古代ギリシャの美術史と美術理論の研究

⑦ 保健体育分野

担当教員	研究領域	研究内容
宮本隆信	保健体育科教育学	授業研究, 授業分析, 指導方法論
矢野宏光	体育学	スポーツ心理学, 運動心理学, 健康心理学
常行泰子	体育学	スポーツ社会学, 生涯スポーツ論, 指導方法論
※駒井説夫	運動学	運動生理学, 体力科学
野田智洋	運動学	コーチング論, 運動観察論
幸篤武	学校保健	健康科学, 体力科学

⑧ 技術教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
道法浩孝	技術科教育学	情報科学及び電気教育に関する実践的研究
北川 晃	電 気	フォトニック結晶における電磁場の伝播に関する理論的研究

⑨ 家政教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
小島郷子	家庭科教育学	家庭科教育・消費者教育に関する理論的・実践的研究
森田美佐	家庭経営学	男女共同参画に向けた社会設計に関する研究
柴 英里	食 物 学	食と健康に関する理論的・実践的研究, 食健康科学, 食育

⑩ 英語教育分野

担当教員	研究領域	研究内容
多良静也	英語教育学	英語教育, 特に動機づけ, テスティング, ストラテジー研究, 音声指導の理論的実践的研究
松原史典	英 語 学	英語学, 特に統語理論を用いてさまざまな文の構造と派生を明確にし, 関連する文法現象を解明する。
長谷川雅世	英 米 文 学	英米文学, 特に19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説

※印のある教員は平成30年度末に退職予定

4 履修方法等

(1) 履修基準

課程修了要件単位（最低修得単位数）

区 分		学校教育コース	授業実践コース
専攻共通科目(注1)		6	
コース 専門 科目	コース別科目(注2)	12～20	12～20 (必修4単位含む)
	教育実践研究Ⅰ・Ⅱ(注2)	4・8	4・8
	長期インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(注2)		
自由選択科目(注3)		0～4	0～4
合 計		30	30

(注1) 専攻共通科目は、「現代教育論」及び「課題研究」を必修とする。

(注2) 「長期インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」4科目8単位、又は「教育実践研究Ⅰ・Ⅱ」2科目4単位のいずれかを
選択必修とする。「長期インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を選択した場合は、コース別科目を12～16単位、
「教育実践研究Ⅰ・Ⅱ」を選択した場合は、コース別科目を16～20単位履修することとする。

(注3) 自由選択科目は、他コース又は他専攻の科目の中から、4単位まで修了要件に含むことができる。

(2) 履修方法

学生は、いずれかのコースに所属し、そのコースの指導教員の指導のもとに、履修基準に定める必要な単位を修得しなければなりません。

(3) 現職教員等の教育方法の特例措置

現職教員等に対しての高等教育を受ける機会を拡大するため、出願時の申請に基づき大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を次のとおり実施します。

- ① 2年の修士課程修業年限のうち1年次は、在職校等における勤務を離れて大学院での学業及び研究に専念し、課程修了に必要な30単位のうち、24単位以上を履修するものとします。
- ② 2年次は、在職校等に勤務しながら専攻が指定した日に登校して研究指導を受けるとともに、授業科目を履修するものとします。

※ 特例による授業は、平日の18時以降又は長期休業期間等に実施します。

(4) 修了要件及び学位

本専攻の修了要件は、原則として2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格することです。本専攻修了により授与される学位は修士(教育学)の学位です。ただし、黒潮圏総合科学準専攻、植物医学準専攻又は海洋鉱物資源科学準専攻履修者には、修士(学術)の学位が授与されます。(文理統合型の大学院として、教育研究をより効果的に行うための履修システムとして「準専攻履修」と「副専攻プログラム」を導入しています。「準専攻履修」については(P.14～16)、「副専攻プログラム」については(P.17)をご覧ください。)

(5) 修業年限

標準修業年限は2年です。在学期間は、4年(長期履修学生は6年)を超えることができません。

(6) 総合人間自然科学研究科修士課程黒潮圏総合科学準専攻について

【目的】

黒潮圏総合科学準専攻は、所属専攻の学問を十分理解し、同時に一つ以上の他専攻の学問を理解して、それらを基礎にして地球環境問題や持続型社会の達成などの、これまでの社会では気づかなかった新学問領域に取り組む姿勢を持った人材を育成します。

黒潮圏総合科学準専攻のカリキュラムは、準専攻共通科目、所属専攻科目及び異分野科目からなり、所属専攻の学問分野を深めつつ、異分野履修により培った黒潮流域圏の領域横断的、かつ、文理統合的な幅広い課題探求能力を身につけることを目的とします。

【授与される学位】

修士（学術）

【修了要件】

下記の準専攻共通科目（必修）12単位＋所属専攻科目12単位＋異分野科目6単位の合計30単位を修得し、修士論文を提出して審査に合格すると、修士（学術）の学位が授与されます。

科目群	科目名	単位数	概略
準専攻共通科目 （必修）	黒潮圏総合科学特論	2	黒潮圏をフィールドとし、そこに広がる様々な問題を、文理融合の新しい視点によつて的確に把握・理解し、その解決方法や持続可能な社会のあり方について探ることを目的とした一連の科目群です。伝統的学問分野の枠にとらわれることなく、未来社会に貢献する総合科学として新領域を切り拓いていきます。
	黒潮圏セミナー	2	
	黒潮圏総合科学特別研究Ⅰ	4	
	黒潮圏総合科学特別研究Ⅱ	4	
所属専攻科目	所属専攻開講科目	12	所属する専攻が開講する科目を履修します。
異分野科目	他専攻向け開放科目	6	人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学の各専攻が、他専攻に所属する学生に開放する授業科目です。近接分野や異分野についても専門の教員から学べる点に大きな意義があります。

【就職先・養成する人材】

所属専攻	就職先イメージ	人材イメージ
人文社会科学専攻	貿易関係企業、第一次産業系企業、シンクタンク職員	海外事情を相対的に把握し、解決方法を学際的視点から発想できる人材
理学専攻 (理学コース)	環境アセスメント会社、環境系NPO職員	生物多様性と地球環境に関する幅広い知識を身に付け、持続的社會を達成するための科学的・社会的思考を持つ人材
医科学専攻	保健機能食品の研究・製造企業、製薬会社、研究機関職員	黒潮圏の生物資源で健康・病気予防に役立つものを評価し、生物活性機序を解明できる人材
看護学専攻	NGO, NPO, JICA	東アジアを主な対象地域として、自然環境、文化的・歴史的・社会的環境の相互関係をひとの健康生活の維持・向上の視点から理解し、看護実践および看護学教育活動の支援に寄与できる人材
農学専攻	国連等国際組織、国際協力機構、NGO、商社、アセスメント会社	東南アジアを主な対象地域として、自然環境と人の営みとの相互関係を理系・文系両面から理解し、熱帯地域における持続型社会創出に寄与できる人材

(7) 総合人間自然科学研究科修士課程植物医学準専攻について

【目的】

植物医学準専攻では、総合人間自然科学研究科の各所属専攻分野の履修に加えて、健全な植物生育環境の構築、病害虫の予防・診断・治療、障害発生メカニズムの解明、植物が有する様々な機能の高度利用、生産物・残さの高付加価値化などに関連した知識・技術を領域横断的に習得します。さらに、関連する最先端の研究に取り組みせることを通じて、人間にとって健全な生存環境の創出について、植物をキーワードとして俯瞰する能力を身につけた人材を育成することを目的とします。

【授与される学位】

修士（学術）

【修了要件】

下記の準専攻共通科目（必修）12単位＋所属専攻科目10単位＋ISK関連科目【指定科目】8単位の合計30単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出しその審査及び最終試験に合格すると、修士（学術）の学位が授与されます。

科目群	科目名	単位数	概 略
準専攻共通科目 (必修)	植物医学特論	2	健全な植物生育環境の構築、病害虫の予防・診断・治療、障害発生メカニズムの解明、植物が有する様々な機能の高度利用、生産物・残さの高付加価値化などについて探ることを目的とした一連の科目群です。植物医学を健全な人間生存環境の創出に繋げる科学としてとらえ、最先端の領域を切り拓いていきます。
	植物医学セミナー	1	
	植物医学カンファレンス	1	
	植物医学特別研究Ⅰ	4	
	植物医学特別研究Ⅱ	4	
所属専攻科目	所属専攻開講科目	10	所属専攻科目群から10単位以上を修得します。
ISK関連科目	【指定科目】 「土佐植物防疫学入門」(農) 「高知県特産農産品の有する特徴とその魅力」(農) 「根圏の科学」(農) 「保全生態学特論」(理) 「分子発生学特論」(理) 「海洋生物資源による免疫応答調節」(医) 「生命環境学入門」(医)	8	ISK関連科目では、地域研究機関との共同による世界に向けた高知発の新しい連携研究の成果等を紹介いたします。本準専攻では、ISK関連科目から「植物医学」の理解に役立つ科目を専攻横断的に指定しました。これらの指定科目（左記）から、8単位以上を修得します。

【就職先・養成する人材】

所属専攻	就職先イメージ	人材イメージ
人文社会科学専攻	公務員，貿易関係企業，化学関係企業，第一次産業系企業，シンクタンク職員	国を支える農作物生産とその関連産業について、情報収集能力と正確な判断能力をもち、解決方法を学際的な視点から発想できる人材
理学専攻	公務員，貿易関係企業，化学関係企業，第一次産業系企業，シンクタンク職員，環境アセスメント会社，環境系NPO職員，研究機関職員，特許事務所	生物のもつ無限の可能性を、科学的な見地から、国民にわかりやすく説明できる人材
医科学専攻	保健機能食品関係企業，製薬会社，化学関係企業，研究機関職員，特許事務所	医学的見地とともに、生物学的見地から、「人間にとっての健全な生存環境の創出」について解明できる人材
看護学専攻	保健機能食品関係企業，製薬会社，研究機関職員，特許事務所	食と健康の観点から、健全な植物生育環境について理解し、看護実践および看護学教育活動の支援に寄与できる人材
農学専攻	公務員，貿易関係企業，化学関係企業，保健機能食品関係企業，製薬会社，第一次産業系企業，シンクタンク職員，環境アセスメント会社，環境系NPO職員，研究機関職員，特許事務所	「健全な植物生育と植物の高度利用」と、「人間にとっての健全な生存環境の創出」について、最先端科学技術を身につけ、科学的に解析できる人材

(8) 総合人間自然科学研究科修士課程海洋鉱物資源科学準専攻について

【目的】

海洋鉱物資源科学準専攻では、総合人間自然科学研究科の各所属専攻分野の履修に加えて、海底鉱物資源を中心としたレアメタルの調査・研究・特性把握、海底鉱物資源からのレアメタル抽出・精錬に関するグリーンテクノロジーの開発、省資源化を基軸とするレアメタル応用機能材料・反応プロセスの開発を基本戦略とした革新的テクノロジー等に関連した知識と技術を領域横断的に修得します。関連する最先端研究に取り組みせることを通じて、高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋鉱物資源科学をキーワードとした、独自性が高く、高度な知識と技術を身につけた人材育成を目的とします。

【授与される学位】

修士（学術）

【修了要件】

下記の準専攻共通科目（必修）12単位＋所属専攻科目10単位＋海洋鉱物資源科学関連科目8単位の合計30単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格すると、修士（学術）の学位が授与されます。

科目群	科目名	単位数	授業内容・概略	
準専攻共通科目 （必修）	海洋鉱物資源科学特論	2	鉱物資源のマテリアルフロー全般にわたる広範な専門知識を身につけ、化学、物理、地学の素養を有し、次世代の資源開発技術を支える研究・開発能力を修得することを目的としています。鉱物資源の将来にわたる持続的な開発・利用を目指す海洋鉱物資源科学として、既存の学問分野の枠組みにとらわれることなく新領域を切り拓いていきます。	
	海洋鉱物資源科学セミナー	2		
	海洋鉱物資源科学特別研究	8		
所属専攻科目	所属専攻開講科目	10	所属する専攻が開講する科目から10単位以上修得します。	
海洋鉱物資源 科学関連科目	A 海洋資源観測実習（準） 資源活用システム学特論（準） 同位体地球科学特論（理） 水圏環境化学特論（理） 資源地学特論（理）	8	海洋資源探査・観測に関する内容 海洋資源利用・応用に関する内容 海洋底資源形成環境に関する内容 水圏環境化学に関する内容 海洋鉱床学に関する内容	海洋鉱物資源の探査・製造から材料開発・応用、さらにリサイクルへと続く資源開発に関連した専門知識と技術を領域横断的に修得する授業科目です。科目群A～Cからそれぞれ2単位以上を含み、合計8単位以上を選択して履修します。
	B 水熱化学特論（理） 錯体化学特論（理） 核磁気物理学特論（理） 磁性物理学特論（理）		レアメタル変換化学に関する内容 無機資源材料化学に関する内容 無機物性核磁気測定に関する内容 レアアース磁性に関する内容	
	C 分子栄養学特論（農） 植物栄養学特論（農） 資源と生命（医）		生体内金属の働きに関する内容 金属膜輸送システムに関する内容 海洋資源応用医療学に関する内容	

【就職先・養成する人材】

所属専攻	就職先イメージ	人材イメージ
人文社会科学専攻	資源関係商社，貿易関係企業，材料化学系企業	資源および材料に関する海外事情を相対的に把握し，解決方法を学際的視点から発想できる人材
理学専攻	鉱物資源系企業，材料化学系企業，研究機関職員（JOGMEC，JAMSTEC等）	レアメタルに関する，地球科学，化学，物理学の幅広い知識を身に付け，持続的社會を達成するための科学的かつ経済的・経営的思考を持つ人材
医科学専攻	医療材料系研究・製造企業，研究機関職員	金属を含む医療材料で健康・病気予防に役立つものを評価し，生理活性機序を解明できる人材
看護学専攻	NGO，NPO，JICA	自然環境や社会的環境を相互的に理解し，ひとの健康生活の維持・向上を目指した看護実践および看護学教育活動の支援に寄与できる人材
農学専攻	環境系・資源系企業，環境系NPO職員，研究機関職員	自然環境に配慮した鉱物資源開発に関する知識や技術を有し，持続型社會創出に寄与できる人材

(9) 総合人間自然科学研究科修士課程副専攻プログラムについて

【目的】

人文社会科学，教育学，理学，医科学，看護学，農学の各専攻が，副専攻科目として指定した科目（開放科目）から，特定の研究分野や目的に応じて体系的に編成された授業科目を履修することにより，主専攻以外の学際的・領域横断的分野や近接分野の幅広い知識と教養を身につけることを目的とします。

【修得認定単位数及び認定書の取得】

所定の必要単位数（16単位以上）を修得することにより，認定書が取得できます。

【レディーメイド副専攻プログラム科目】

人文社会科学，教育学，理学，医科学，看護学，農学の各専攻が，他専攻に所属する学生に開放する授業科目の中から，特定のねらいや目的のもとに，あらかじめ構成されたもので，下記4つのプログラムがあります。

① 環境科学

黒潮圏域で起こる様々な環境問題をモデルに，その問題を領域横断的な視野をもって科学的に理解し，事象を普遍化する思考法を修得します。主に海洋を中心とする文理両面の先端科学を学びつつ，環境に関する総合的な知見を醸成します。

② 医療福祉学

医療・福祉の専門技術者としての能力だけでなく，サービスを直接提供する施設の運営管理能力やニーズ把握，サービス評価能力，及び当該分野における政策立案能力など医療・福祉管理学の素養を修得します。

③ 高(知・智・地)の科学 (ISK)

ISK (Identified Science in Kochi) は，四国山地から太平洋，亜寒帯から亜熱帯気候までを有する高知県の希少な自然及び社会環境を基盤として，産官学融合型・地域基盤型・現場対応型の教育研究を目指すものです。

④ 現代教育学 (教育学専攻以外)

各々の専門的学識を深めながら教職に要する能力の向上も望む学生に対し，教育学専攻が開設している主要な授業科目を提供します。社会構造の大きな変動に対応しつつ学校教育に対する期待に応えると同時に，学生の進路の多様化に対応します。

【オーダーメイド副専攻プログラム科目】

人文社会科学，教育学，理学，医科学，看護学，農学の各専攻が，他専攻に所属する学生に開放する授業科目の中から，学生が希望するテーマに応じて構成し，研究科長の認定を受けるプログラムです。

【就職先・養成する人材】

主専攻＋副専攻	就職先イメージ	人材イメージ
理学専攻 ＋環境科学	環境系コンサルタント，博物館・水族館職員，環境系NGO・NPO	現代の様々な環境問題に取り組んでいくための素養を身につけ，地域社会をリードしていける人材
看護学専攻 ＋現代教育学	看護職管理者，看護学教育者，養護教諭，研究機関職員	看護学・医学などの実践科学と教育・心理学などの理論を活用し，医療・教育現場で管理・教育問題をマネジメントできる人材
農学専攻 ＋高(知・智・地) の科学(ISK)	企業(化学・生物・医薬品・環境アセスメント・水産・食品・流通関連)	地域に特化した新規産業育成に寄与できる高度な知識と技術を併せ持つ人材

5 授業科目表 ー平成30年度 開講授業科目ー

(1) 専攻共通科目 (各コース共通)

現代教育論 課題研究

(2) コース科目 (主な授業科目)

1) 学校教育コース

教育学分野	学校教育・教職特論 道徳教育特論 教育制度特論 研修マネジメント 生徒指導特論 地域教育特論 学級経営特論 教育社会学特論 教育実践研究 (学校教育) 長期インターンシップ (学校教育)
心理学分野	教育相談特論Ⅰ 教育相談特論Ⅱ 学習指導特論 教育心理特論 教育実践研究 (学校教育) 長期インターンシップ (学校教育)

2) 授業実践コース

国語教育分野	カリキュラム開発論
社会科教育分野	教授・学習過程基礎演習 (言語, 社会・生活, 自然, 身体・表現)
数学教育分野	授業方法演習 (国語, 社会, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 英語, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭)
理科教育分野	教材開発演習 (国語, 社会, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 英語, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 異文化理解, 地域伝統文化, 環境教育)
音楽教育分野	教科内容基礎論 (国語学, 国文学, 漢文学, 東洋史, 西洋史, 地理学, 経済学, 法律学, 哲学, 代数学, 幾何学, 解析学, 物理学, 化学, 生物学, 地学, 英語学, 英米文学, 声楽, 器楽, 音楽学, 作曲法, 絵画, 彫刻, デザイン, 工芸, 美術史, 体育学, 運動学, 学校保健, 電気, 家庭経営学, 食物学, 異文化理解, 環境教育)
美術教育分野	
保健体育分野	
技術教育分野	教育実践研究 (国語, 社会, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 英語, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭)
家政教育分野	
英語教育分野	長期インターンシップ (国語, 社会, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 英語, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭)

(注) 各授業科目は2単位である。ただし, 課題研究は4単位である。

6 取得できる教育職員免許状の種類

本専攻において取得できる専修免許状は, 次のとおりです。ただし, 専修免許状の所要資格を得ようとする場合は, 取得しようとする専修免許状 (中学校及び高等学校教諭の専修免許状については, その教科) の一種免許状を有することが必要です。

専攻名	コース名	取得できる免許状の種類・教科等	
教育学	学校教育 授業実践	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語
		高等学校教諭専修免許状	国語, 書道, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 英語
		幼稚園教諭専修免許状	

(免許状取得に関する詳細については, 学務部学務課修学支援室教育学部教務係 (電話 088-844-8653) までお問合せください。)

検査場案内

検査場：高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町二丁目5番1号)

[交通アクセス]

① JRで来られる方へ

J R 朝倉駅	徒歩(約5分).....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
J R 高知駅	路面電車(とさでん交通, 以下, 省略)「高知駅前」電停で乗車(約5分), 「はりまや橋」電停で下車, 以下のA~Cへ乗り換え	

② 航空機で来られる方へ

空港連絡バス	「高知龍馬空港」で乗車(約30分), 「はりまや橋」で下車, 以下のA~Cへ乗り換え
--------	--

【乗り換え】高知市内中心部より

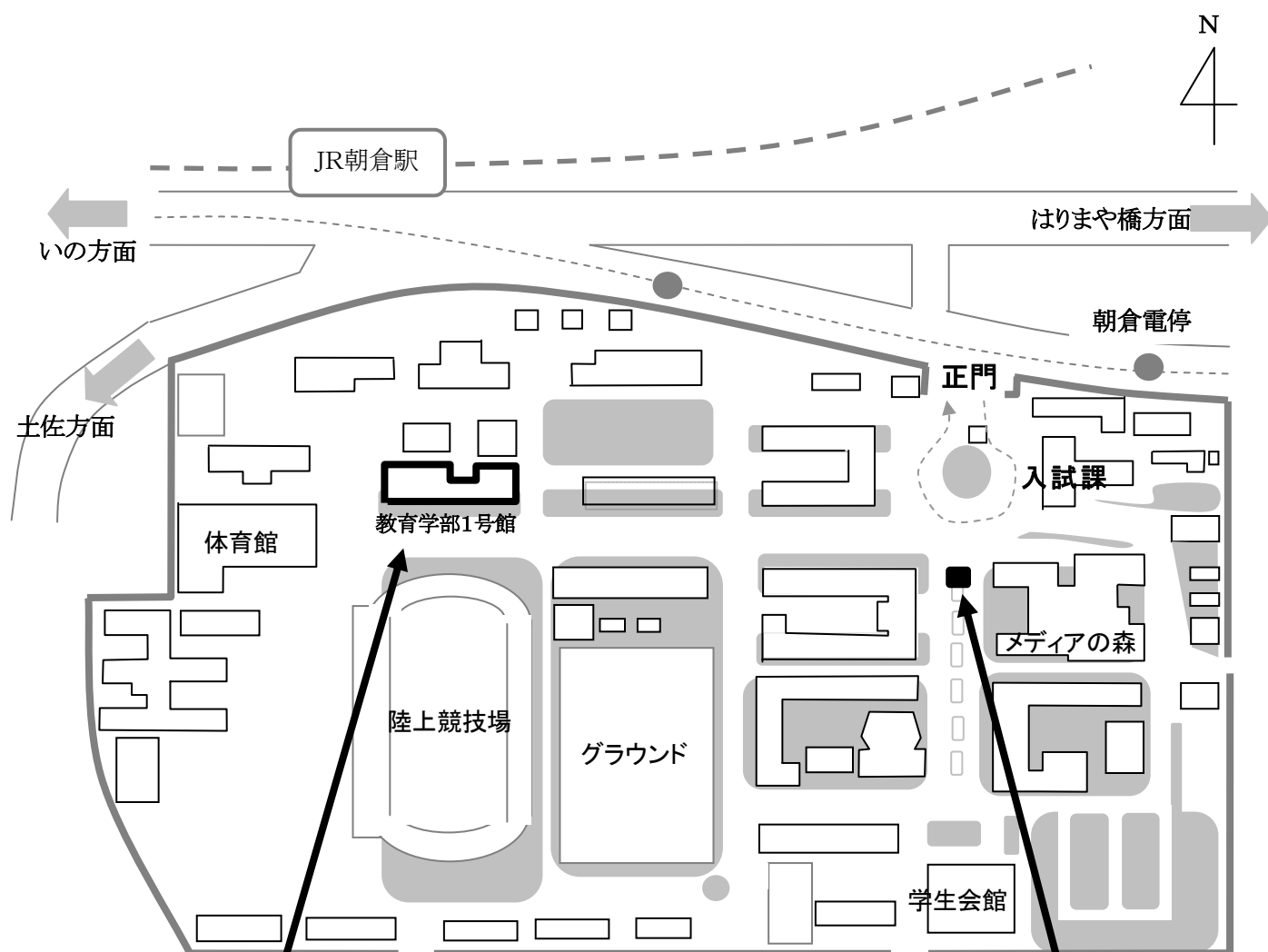
A 路面電車 「はりまや橋」電停	「朝倉(高知大学前)」・「いの」行きに乗車(「鏡川橋」経由)(約30分), 「朝倉(高知大学前)」下車, すぐ.....▶	高知大学 (朝倉キャンパス)
B とさでん交通バス 「はりまや橋」バス停	「学芸高校」方面行きに乗車(約25分), 「朝倉(高知大学前)」下車, すぐ.....▶	
C とさでん交通バス 「堺町」バス停	「宇佐」・「高岡」・「須崎」・「天王ニュータウン」・「八田」・「長沢」・「土居」・「狩山口」・「学芸高校」(いずれも土佐道路経由を除く)方面行きに乗車(約25分), 「朝倉(高知大学前)」下車, すぐ.....▶	

※発着時刻・料金は, 時刻表などでご確認ください。

朝倉キャンパス 案内図



高知大学朝倉キャンパス平面図



教育学部1号館 11番講義室(1階)

案内図

※試験当日は「案内図」をご覧ください。